

# 英語を楽しく

No. 145  
18, January

☆ 食事をしている人に “delicious” とは 聞かない。なぜ？

“delicious” の意味は「とても美味しい」で「美味しい」よりランクが上  
日本人は「美味しいですか。」と聞くのに “delicious ?” と言っても違和感が無いけれど  
英語圏の人にすれば、「妙なことをいうなあ。」と思う言葉です。

【美味しいとわかっている物を「美味しいですか。」と聞くことになるからですね。】

delicious = 美味しい (物)

「美味しいですか。」と聞きたければ、

“Is it nice ?”

“Is it good ?”

と聞きます。 かんたんですね。

もし、自分が作ったカレーを食べている人に  
“Is it delicious ?” と聞くと、  
「褒めてもらいたがっている。」  
と思われるので、そんなときは、  
“How is the curry ?” と聞くんですね。

☆ 日本語で使えて、英語で使えない単語 → dislike

日本語で「嫌いな食べ物」と言いますが、英語の dislike は形容詞として使えません。  
もし、

「嫌いな食べ物がありますか。」

と聞きたい場合は、

Is there anything you don't like to eat?

と聞くといえます。



☆ <日本語←→ 英語は> それぞれの文意をとって訳しましょう。  
例えば、

・「私の嫌いな食べ物は納豆です。」 = 「私は納豆が嫌いです。」と考えると、  
→ I don't like Natto. と言うと簡単に英語になりますね。

(注) My dislike food is natto. とはいけません。

・「(冬の暖房には) やっぱりガスがいいわ。」 = 「ガスが一番。」と考えると、  
→ Gas is best.

・「私は英語が下手です。」 = 「私は英語の下手な人間です。」と考えると、  
→ I'm a poor speaker of English. です。

★ ([be good at(～が得意)の反対熟語] の [be bad at(～が下手)を知っていると、もっと簡単)

→ I'm bad at English.

→ I'm bad at speaking English.

I'm a bad speaker of English.

poor の代わりに bad を入れただけ

同じ意味のことを言うのに様々な言い方がありますが、最も簡単なのがいいと思います。 Simple is best. です。